

第五十七回フオト句会優秀作品(27年12月14日)

自由題



連れ小便 背後で鬼が
高笑い 松田 昌康
寸評：甕からの聖水を連れ
ションとは。巻頭作品に
は高い品性が望まれるが、
これもフオト句の特性か？



知恵の実の樂園揺るがす
TPP 大月 和彦
寸評：綺麗な写真だが、句
にもう少しパンチ（詩情また
は滑稽味）が欲しいところ。



根も葉もない噂の二人
 子沢山 三 春
 寸 評：確かに根も葉も
 ない茸に沢山のチビ茸。
 地味な写真に楽しい句が
 ついた。



病む都市の墓標になるか換気塔

大月 和彦

寸 評：片や明るい画面に深刻な句

ペンフォト句会のメンバーは多士済済。個性豊かな人材の宝庫。来年もよろしく！



元カノと去年も見たとは言えにやせぬ

三 春

こなた夜の場面にお軽い句

句付け



今月は松田さんの出題で、タイの動物園での飼育員と象の交歓スナップです。

- | | |
|----------------------------|--------|
| 1) 鼻芸に 有象無象 の大歓声 | 三 春 |
| 2) 芸達者おアシ集めも抜かりなく | 新田 由紀子 |
| 3) 里親を 鼻であしらう ドラ息子 | 中村 晃也 |
| 4) 目の前の禁制の牙値踏みする | 平尾 富男 |
| 5) 象は鼻 妻はまなこ で物を言い | 池田 隆 |
| 6) 鞭もつも ガキの教育 ままならず | 平尾 富男 |

寸 評：

- 1) 主役の象を直接表現せず、観衆を**有象無象**と表現した手腕は卓抜。
- 2) 演技のあとに帽子を回してチップを集めるのも芸のうちと詠んだ。
- 3) 飼育員を里親、象をドラ息子に見立てた。**鼻であしらう**の措辞が巧み。
- 4) 肝心の象の芸を見ないで象牙の値踏みをする根性には恐れ入る。
- 5) 何をしても奥さんの一言が気になる心境は健気？それとも哀れ？
- 6) 教育熱心な父親の心境。本人は同じことを奥方から言われているかも。